

小山田・小山田南地区統合新設小学校建設基本計画策定等支援業務委託及び建設基本設計業務委託
二次審査評価ポイント

種別	項目	中項目	評価項目詳細
書類審査計			
書類審査	業務実施方針及び工程計画の確性		本業務を履行するために、関連する経験、実績、技術者配置計画は適切か。業務完了までの手順や工程計画は、関係者協議が的確に予定され、業務期間内に無理ない体制及び工程となっているか。
		(1) 統合する学校像について	<p>① 町田市が目指す新たな学校について、上位計画である「町田市未来づくりビジョン2040」、「学校教育プラン24-28」、「町田市新たな学校づくり推進計画」、「町田市立学校 施設機能別整備方針」を実現するため、業務の担当となる業務責任者や主任技術者が過去に設計した実例をもとに、具体的な取り組みを記述してください。</p> <p>② 二つの業務を同時に進めていくうえで、統合にあたり地域との関わり方や意見の集約など、合意形成を含めた事業の進め方をどう考えているか又は反映させるか記述してください。</p>
	(2) 施設の整備について	① 「町田市立学校 施設機能別整備方針」に記載する町田市立学校施設整備の基本理念及び基本方針を踏まえ、本敷地における施設配置やアクセス動線などについて記述してください。	高低差、日照、地盤等の敷地分析の深度と、それが計画に適正に反映されているか。 児童・教員・来訪者・車両の分離や安全性等に配慮した動線計画となっているか。 避難計画、避難所運用を含むBCPの実効性が示されているか。
		② 児童の多様性、教育内容や教育形態の変化に柔軟に対応できる学習環境を実現するため、具体的なゾーニング計画及び設備計画のあり方について記述してください(学習形態に応じた空間の可変性、多様な児童に配慮した環境整備、運営しやすい教育環境とゾーニング計画、将来的に教室の転用を容易にする構造的工夫など)。	LGBTQ+や特別な支援を必要とする児童に配慮した工夫が施設設備やゾーニング計画の検討をされているか。 教育形態の変化による空間の使い方が教職員の利便性に寄り添った工夫が検討されているか。 将来的な教室転換による施設設備機器等の拡張性や更新の容易性等に配慮した計画が検討されているか。
		③ 地域住民が利用しやすいよう、ラーニングセンター(図書室)、体育館、多目的ホールなどの開放諸室を、アクセス動線とどのように連携させ配置するか記述してください。また、市民と学校が連携・協働できる工夫や、不特定多数の利用があっても学校や学童が落ち着きを損なわないゾーニングの工夫を具体的に記述してください。	開放諸室の配置が出入口・受付・動線分離、駐車場計画と連動し、独立しており、利用しやすさのある施設配置が検討されているか。 地域の交流拠点となるようなコモンスペースなどの交流の場を構築し、連携、協働の仕掛けを検討しているか。 開放、学校及び学童の各区画との境界面で音や視線を遮断し、各区画の静穏性やセキュリティ性が確保するよう工夫が検討されているか。
		④ 物価高騰下における予算遵守とライフサイクルコストの最適化に向け、資材選定、VE提案、施工合理化等の設計上の工夫について、長期的な維持管理の視点を含めて具体的に記述してください。	目標コストと整合する仕様の優先順位付け、代替案、物価変動を見据えた計画の実現性が検討されているか。 耐久性・保全容易性・更新周期とコストなど、ライフサイクルコストの最適化に配慮した計画が検討されているか。 標準化やモジュール化・プレファブ化などの施工合理化の考えがあり、工期短縮や品質確保に実効性が配慮した計画が検討されているか。
		⑤ 工事期間中に在籍する児童は、校庭が狭くなるなどの制限の中で学校生活を送ることとなるため、各施設の建替えの手順(ローリング)、仮設計画(児童の負担軽減や安全性の確保を含む)、学校や学童だけでなく来校者を含めた運営への配慮について、計画上どのような点を工夫し、まとめていくか具体的に記述してください。	各施設の建替えの手順(ローリング)や仮設計画は児童の安全性が確保されているだけでなく、学校運営等への配慮が検討されているか。 工事期間中の校庭使用面積や工事期間短縮について、敷地条件を考慮し具体的かつ実現性のある検討がされているか。